

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	希望ヶ丘高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制課程 普通科
-----	----------	------------------	-----------

1 学校のミッション

これまで、幅広い教養を身に付ける教育の充実を通して、課題の解決に向けて主体的に学ぶ意欲を高める教育に取り組んできたが、今後はさらに、豊かな人間性を身に付け、社会の発展に貢献できる人材の育成に向けて、幅広い知識を活用して思考力・判断力・表現力等を育むための不断の授業改善に取り組むなど、これからの時代に求められる資質・能力の育成のための教育活動の充実に取り組む。

また、平成 28 29 30 年度の3年間「理数教育推進校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及するとともに、平成 28 29 年度の2年間「学力向上進学重点校エントリー校」として平成30年度の学力向上進学重点校の指定に向けて取り組む。

2 学校教育目標

- 主体的に学ぶ意欲を高め、一人ひとりの能力と素質を最大限に伸ばすことにより、将来を担う人材を育成する。
- 高等教育の基本となる知識・技能を身に付けさせ、それらを活用した論理的で柔軟な思考力・判断力・表現力を育む教育を推進し、一人ひとりの進路実現を支援する。
- 部活動・生徒会活動など生徒の主体的な活動を支援し、他者を尊重し思いやる力を養い、社会の発展に貢献できる人材を育成する。
- 地域との協働・連携を推進し、学校からのわかりやすい情報発信を積極的に行い、地域・保護者から信頼される学校づくりを進める。

3 計画作成時点での課題

- 高い能力を持った生徒達であるが、部活動や学校行事と学習の両立について十分な意識を持っておらず、進路実現に向けた準備が遅れる傾向が強い。平成 27 年度 2 年生 4 月の調査で家庭学習時間の平均は1時間に満たない時間であった。平成 28 年 3 月卒業生では、国公立大学現役合格は 42 名、私立大学への実合格者数は、早稲田大学・慶應義塾大学・東京理科大学の合計で 60 名であったが、まだ本来持てる力を発揮しきってはいない。高い志を持ち、妥協せず、第一志望校を目指す逞しさを養うためには、基礎力の充実が何より必要である。
- 総合的な学習の時間を中心とする探求的な活動については、まだ十分に実施されているとは言えない。カリキュラムを変更するなどして、探求的な活動を行う時間を確保する必要がある。
- 「生徒主体」の活動が、「生徒任せ」にならないよう、どのような力を育てたいのかを見極めて、教職員が適度の関わりを持っていく必要がある。
- 地域との連携は生徒会や一部の部活動で活発に行われているが、学校全体としての取組にはまだ発展していない。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 本校生徒に最適化し、力を伸ばす教育課程と授業研究に取り組む。 生徒主体の学校行事をさらに発展させ、課題発見・解決能力の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニングの視点を取り入れた教科指導及び「総合的な学習の時間」における探究活動等、組織的な授業改善を展開する。 生徒会活動、学校行事の課題を、生徒教職員が共有し、課題解決に向けた取り組みを進める。
2	生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒主体の部活動をさらに発展させ、学習との両立を指導・支援しながら、豊かな人間性を育成する。 教育相談体制の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動、部活動のバランスのとれた学校生活の実現に向けて、タイムマネジメント能力を育成する。 組織的な教育相談・支援体制を整備する。
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの進路実現に向けて、学習面、精神面で力強くサポートし、自己の能力と素質を最大限に伸ばす。 志を高めるために、大学卒業後を見据えたキャリア教育を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年、教科担当者がチームとなり、高校3年間を見通した指導を行い、全国規模のデータ等を有効活用した面談などの指導体制づくり、さらに進路実現に向けた各種補習等を充実させる。 保護者・同窓会・大学等と連携した取り組みを行う。
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域、さらに同窓会との協働を推進し、地域に貢献できる、信頼される学校づくりを進める。 ホームページや学校説明会等による迅速で正確な情報発信に務める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己肯定感の向上につながる地域との連携に取り組み、保護者や地域、同窓会と連携した行事や部活動等の運営を図る。 情報発信として、学校説明会やホームページに加え、様々な媒体を活用した的確な広報活動を展開する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境の整備に努め、安全で安心な学校づくりに取り組む。 様々な教育課題に適切に対応するために、教員指導力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を充実させると共に、事故防止会議を定期的で開催し、危機管理意識を高める。 各教科を越えた相互の研修及び外部機関と連携した研修を実施し、教員一人ひとりの指導力スキルの向上を図る。